

被災者支援活動ニュース

兵庫県委員会から鳥取中部地震被災者支援募金 生活と生業の再建へともに奮闘誓う

18日、兵庫県委員会の金田峰生党国会議員団事務所長(2016年参院兵庫県選挙区候補)が鳥取県委員会を訪ね、鳥取中部地震にたいするお見舞いをのべ、これまでに寄せられた被災者支援募金30万円を小村勝洋県委員長に手渡しました。



募金を手渡す金田峰生氏(左)と小村県委員長

小村県委員長は、募金を寄せていただいた兵庫県の皆さんに心から感謝しますとのべ、お預かりした募金は必ず行政に届け、被災者支援のため役立たせていただくと伝えました。

金田氏は、兵庫県委員会が、ちかく政府交渉を予定しており、自然災害から国民の命を守るため、「全壊」の場合の支援額を300万円から500万円に引き上げること、「半壊」「一部損壊」も支援対象にすることなどを求めると述べました。

小村県委員長は、鳥取県での「一部損壊」への支援制度にふれながら、生活と生業の再建への希望がもてる社会にしていくためともに奮闘したいと述べました。

“中がひどくてとても住めない” “建て替え考えている” 「訪問・聴きとり」アンケートに被災者の切実な声次々

「屋根だけでなく廊下もこわれ、中がひどい」「とても住める状況ではない」「建て替えも考えている」などなど、18日におこなわれた「訪問・聴きとり」のアンケートに被災者の切実な声が次々と寄せられています。震災対策本部は、被災者の声をとっくりと聞くことが大事と、今年20日(日)、



被災状況、要望や悩みを聞くボランティアのみなさん(18日・倉吉市)



25日(金)、来月2日(金)、9日(金)、16日(金)とひきつづき「訪問」活動を計画し「ぜひ、多くのボランティアの参加をと」よびかけています。